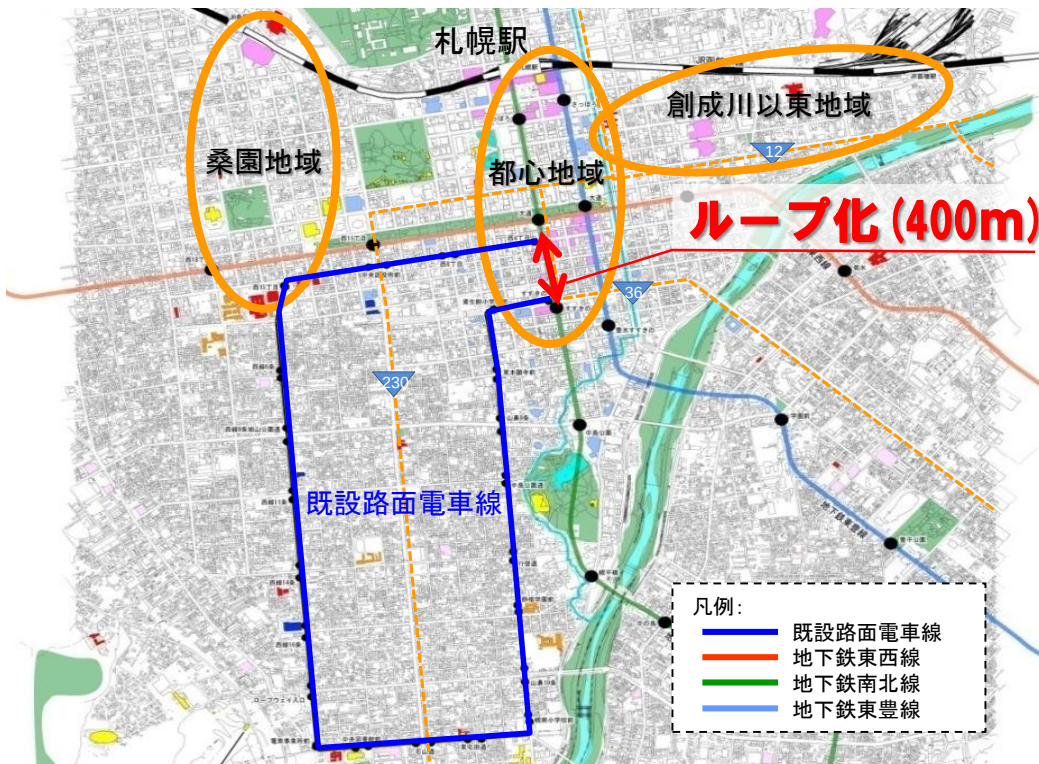


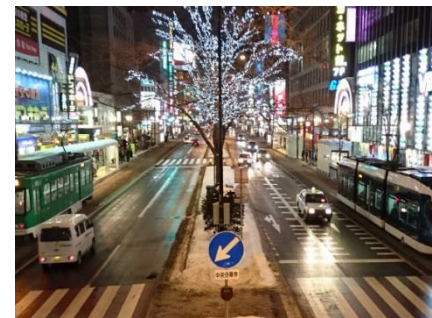
(2)LRT等に関する最近の整備事例 について

札幌市 路面電車のループ化事業

札幌市では、経営基盤強化及び都心部内でのまちづくりへの活用のため、路面電車のループ化と延伸を計画（延伸検討箇所は、都心地域、創成川以東地域、桑園地域）。平成27年12月20日にループ化を開業。順次、既設線の電車停留場のバリアフリー化等を順次進める予定。



札幌駅前通でのループ化(サイドリザーベーションによる整備)



【検討経緯概要】

平成24年度：ループ化に向けた実施設計、低床式車両の製造に着手
平成25年度：法定手続き、低床式車両1編成の運行開始
平成27年度：400m延伸し、ループ化開業(12月20日)

- ## 沿道の 民間投資も活発化



西4丁目

西4丁目停留場 (H27.12開設)

PIVOT

南2丁目

狸小路商店街

狸小路停留場 (H27.12開設) 内回り

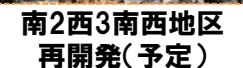
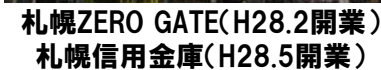
サイードリザーベーション

外回り

例

- タクシー乗降**
- 荷捌きスペース (夜間はタクシー)**

西5丁目



路面電車ループ化の効果

- 路面電車が歩道側を走行することにより、魅力的な景観を形成
- バリアフリーで歩道から直接乗降できることから、すべての人にやさしい公共交通が実現

魅力的な風景



【大通地区の商業者の声】※

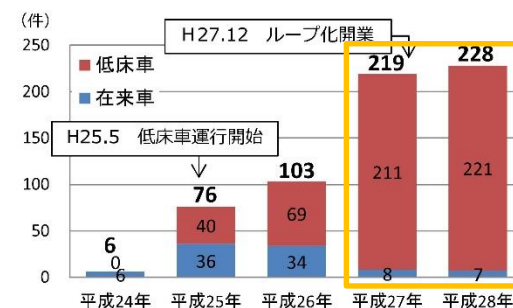
- ・大通公園方向へ抜けて路面電車が通過している風景が良い。
- ・路面電車が店舗の正面を通過するため、路面店のショールームとしての価値が向上しました。

※平成28年度ヒアリング調査結果

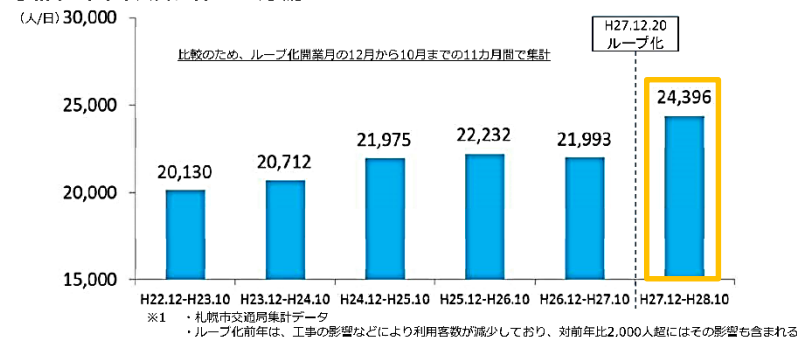
利便性の向上



【車いす利用件数の推移】



【路面電車乗車人員（1日あたり）】※1



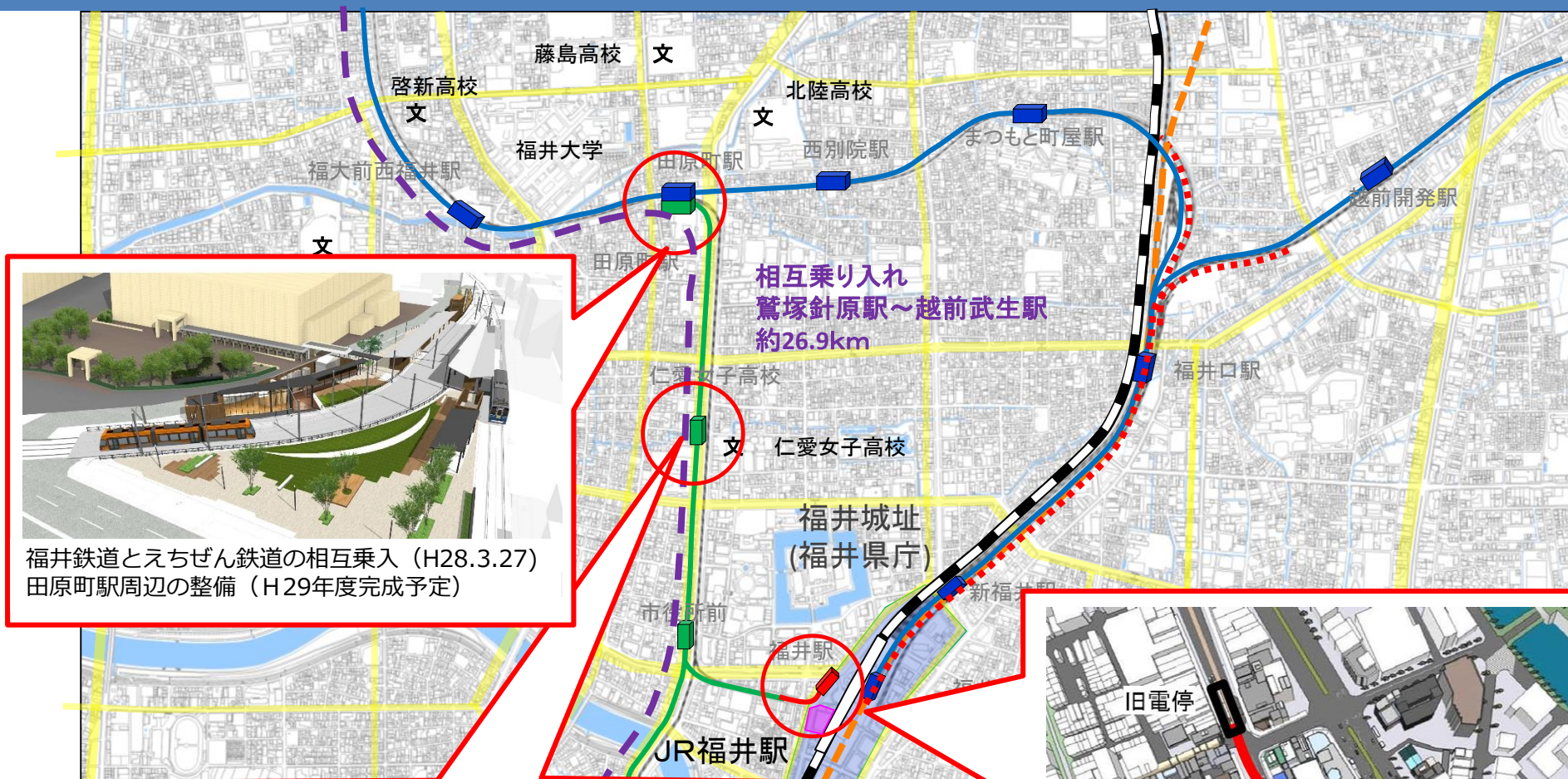
【利用者の声】※

- ・ループ化により、障がい者にも乗りやすくなってありがたい。狸小路に停留場が出来たのが良い。歩かなくてすむので。
- ・子供と一緒に乗る時、乗降時のステップの高さにいつも苦労しますので、低床車が増えるといいと思います。

※路面電車ループ化に関するアンケート調査結果 平成28年8月21日(日)、10月12日(水)、16日(日)

福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れ、 福井駅前延伸

福井駅周辺におけるプロジェクト



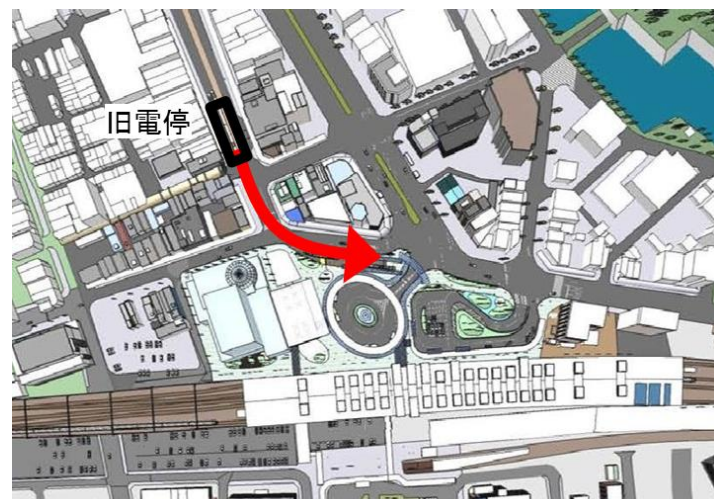
福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗入 (H28.3.27)
田原町駅周辺の整備 (H29年度完成予定)



仁愛女子校電停 (従来)



仁愛女子校電停 (改良後 (H26.2))



駅前線の福井駅西口広場への延伸
(電停移設) (H28.3.27)

福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れの効果



相互乗り入れにより、利用者の利便性が向上

〔運行時間の短縮〕

越前武生 ⇄ 鷺塚針原駅

約80分 → 約60分（約20分短縮）

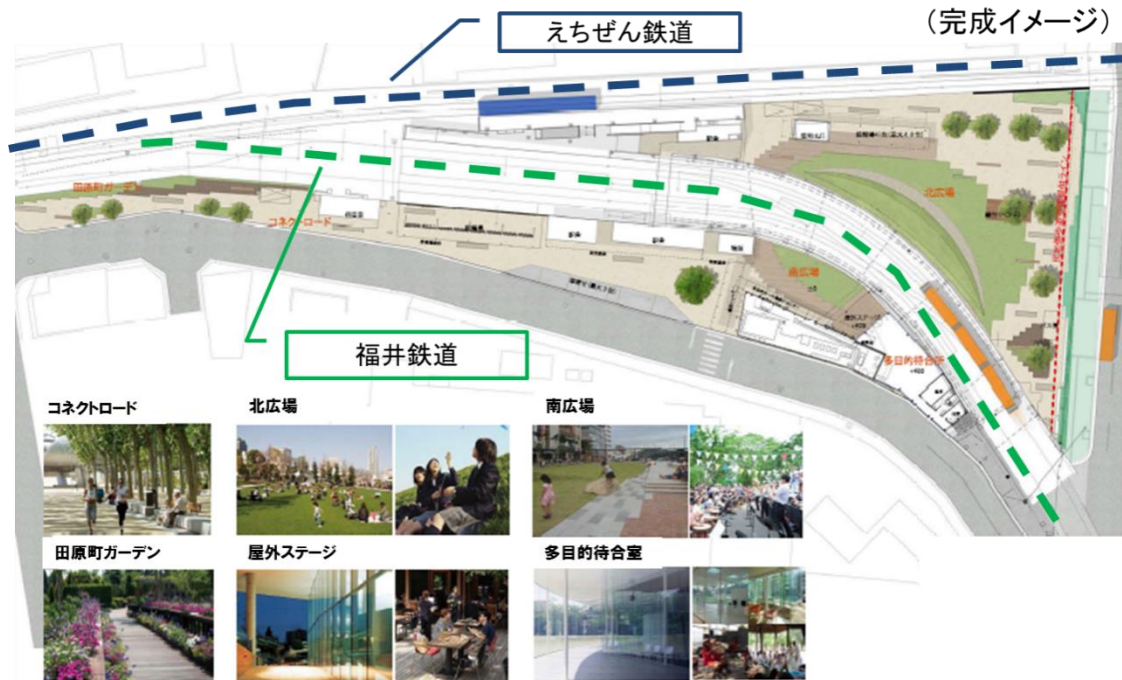
〔運行本数の増〕（9～15時）

福井鉄道区間

6本/時 → 8本/時（2便/時増）

えちぜん鉄道区間

4本/時 → 6本/時（2便/時増）



更に、相互乗り入れにより改修された田原町駅の周辺に、交流広場を整備（H29年度完成予定）

福井駅西口広場整備と併せた路面電車の延伸の効果

鉄道とバス、路面電車の乗り継ぎ利便が向上したほか、それぞれの乗降場が屋根でつながり、雨や雪を気にせずに歩くことができる広場が完成。

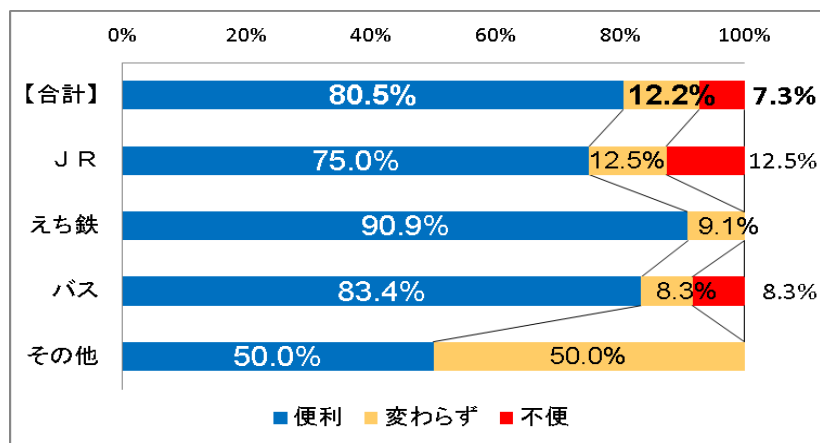
併せて、駅周辺の再開発を行い、駅前広場に併設して全天候型の交流広場を整備



駅前広場の全景



路面電車から他の交通への乗り継ぎ利便性の変化



延伸後の福井鉄道福井駅利用者アンケートより

富山市 LRT区間による トランジットモール社会実験の取組

- 富山市は、LRTをはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現を目指す



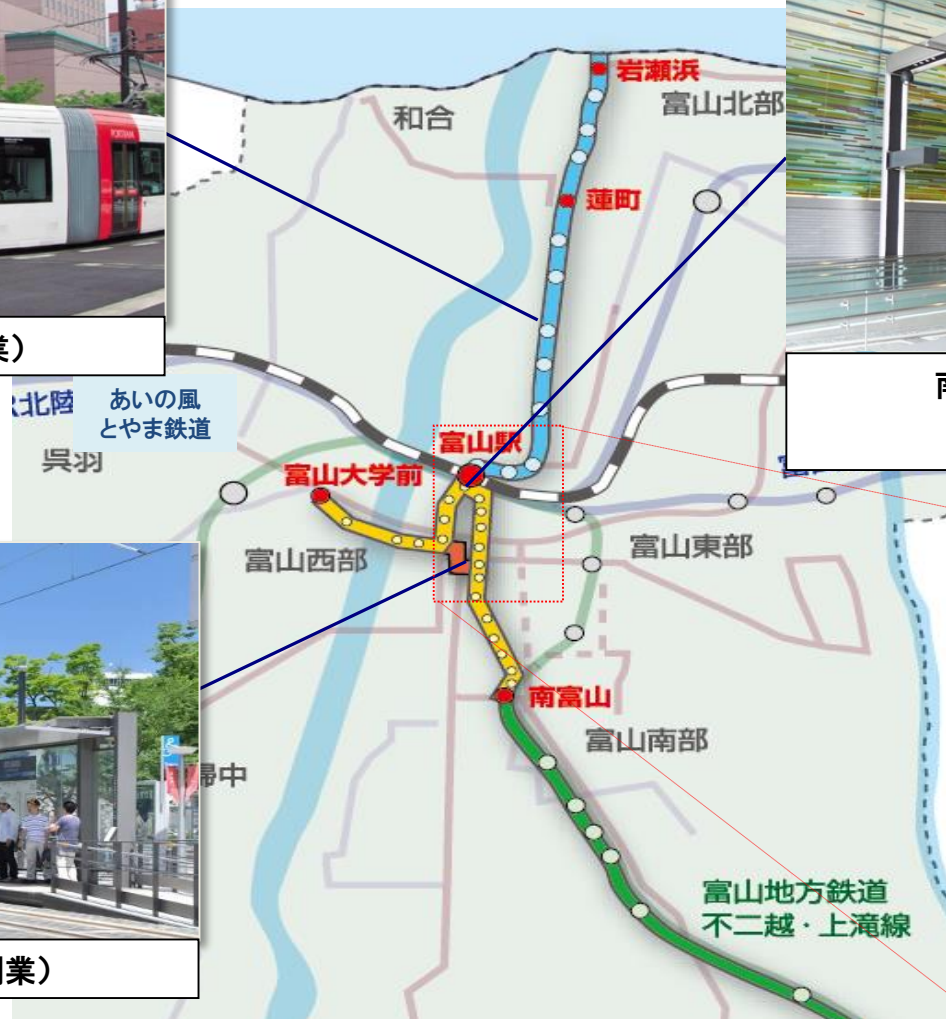
富山ライトレール(2006年開業)



南北接続 第1期(2015年開業)
第2期(2019年度開業予定)



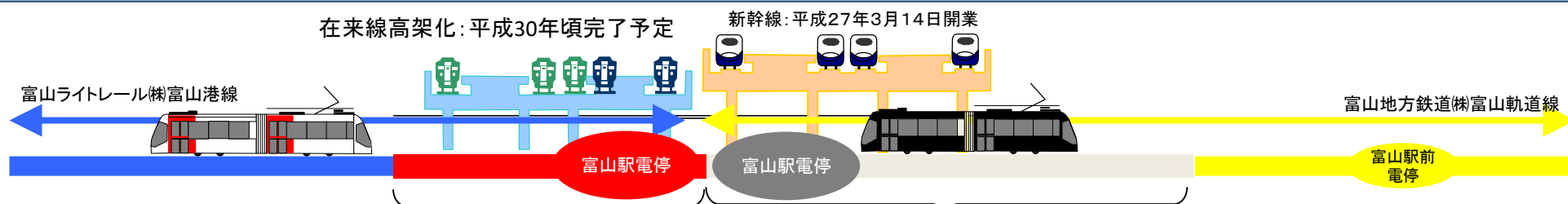
市内電車環状線(2009年開業)



富山市 LRT南北接続事業の概要

LRT南北接続事業の概要（市内電車富山駅乗り入れ）

富山市では、北陸新幹線開業・JR在来線高架化完了後において、富山駅との結節強化を図るとともに公共交通ネットワークを大幅に向上させるため富山ライトレール(株)富山港線と富山地方鉄道(株)富山軌道線の接続線整備を段階的に実施する予定。



第2期：平成31年度に開業予定

第1期（延長0.16km）：平成27年3月14日開業



<プロジェクトの概要>

第1期（新幹線開業時（平成27年3月14日）に開業）

延長0.16km

下（富山市）－新線区間は全て制振軌道を整備、新設電停はバリアフリー対応

上（富山地方鉄道(株)）－全22編成中6編成がLRV、更に31年度まで3編成導入予定

第2期（平成31年度に開業予定）

延長約0.09km、電停1箇所

下（富山市）－新線区間は全て制振軌道を整備、新設電停はバリアフリー対応

上（富山ライトレール(株)）－全7両中7両がLRV

○富山市では都心地区において、賑わい創出と回遊性向上や公共交通の利用促進につなげることを目的に今年10月に日本初のLRT区間によるトランジットモール社会実験を実施。

＜社会実験の概要＞

実施日 平成29年10月14日[土]、15日[日]

場所 大手モール（延長約290m）

実施区間



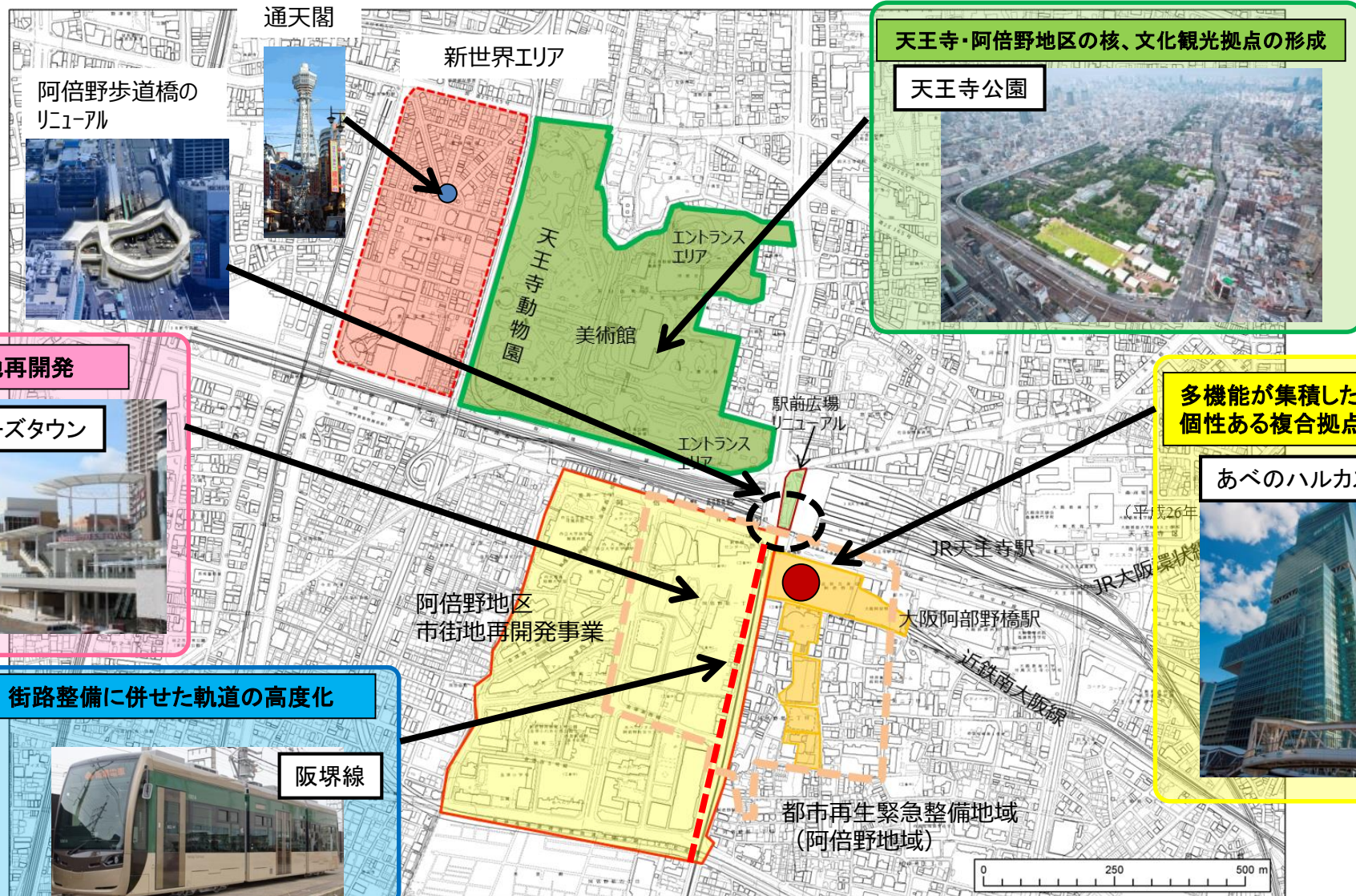
- ・マーケットや音楽イベントなどを行う「大手モールフェス」開催日に併せトランジットモール社会実験を実施



大阪市 阪堺電気軌道上町線の高度化

大阪市天王寺・阿倍野地区のまちづくり

- 大阪の南の玄関口にふさわしい商業・娯楽・居住・宿泊機能等が複合した個性ある拠点の形成を目指す
- 天王寺・阿倍野ターミナル周辺の歩行者ネットワークを形成し、回遊性のある歩行空間を整備

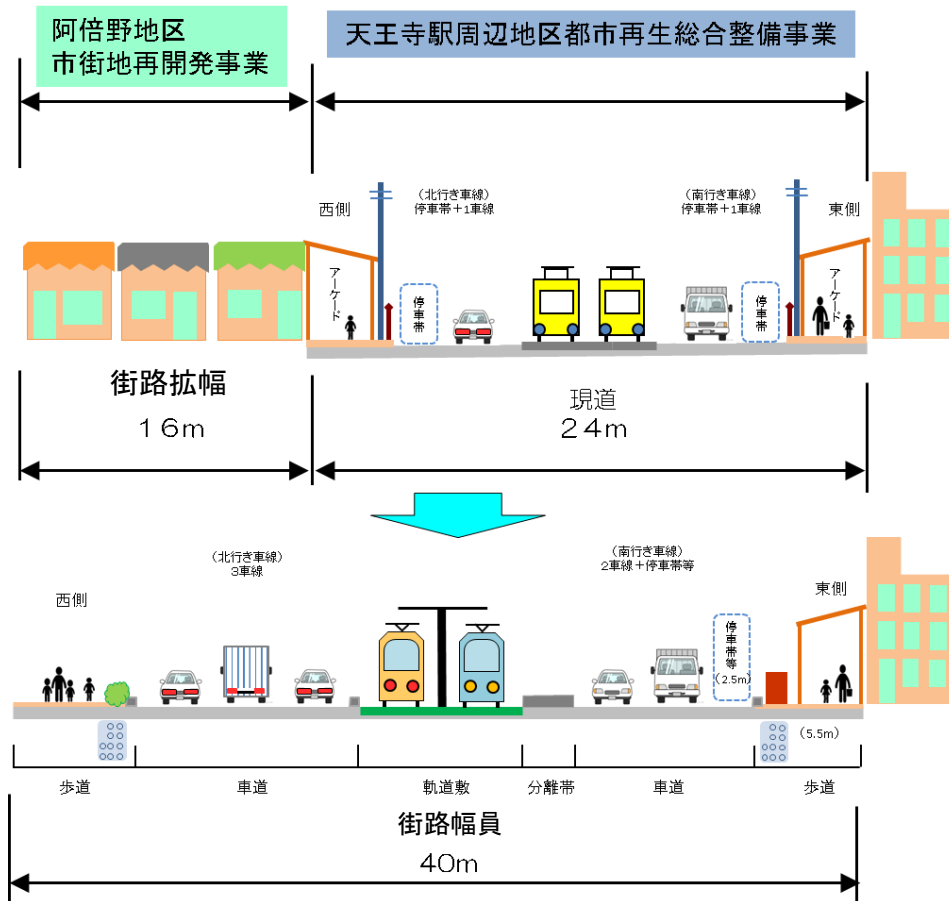


街路整備に併せた軌道の高度化

- 市街地再開発に伴う街路拡幅により、軌道に移設
- ゆとりある歩行空間の整備と軌道の高度化に取り組む

- 近鉄前交差点から阿倍野交差点まで約620mを街路整備
- 現状24mから40mに拡幅し、ゆとりある歩行空間を整備

- 人(ひと)と街(まち)にやさしい路面電車をコンセプトに軌道を高度化



人(ひと)にやさしい

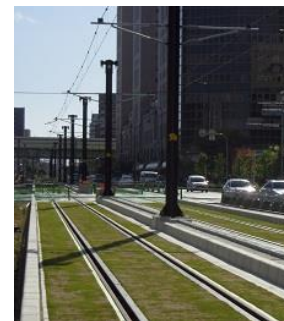
- エレベーター・スロープ設置でホームとの移動の円滑化
- ホーム上の安全性の確保



スロープ (阿倍野停留所)

街(まち)にやさしい

- 都市景観…軌道緑化と架線柱のセンターポール化
- 環境対策…軌道緑化による走行音の低減化と気温上昇の緩和



整備前



整備後



(阿倍野停留所)

**持続可能な都市の実現に向け、
交通とまちづくりの連携を推進してまいります。**



ニース（フランス）

ご静聴ありがとうございました。